

# 有限会社 グルツペ

## 2022年度環境経営レポート

(対象期間：2022年12月～2023年11月)



作成日：2023年 3月 31日

更新日：

# 目次

I 環境経営方針

II 組織の概要

III 環境経営目標とその実績

IV. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取組内容

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

VII 産業廃棄物処理組織の概要

## ごあいさつ

有限会社グループは、青森県下北地方の釜臥山のふもとの自然豊かな場所に位置します。この自然豊かな環境を未来の子供達へ残すためにも環境負荷の低減CO2削減を重点に踏まえ、環境負荷の少ない事業に自主的・積極的に取り組んでいきたいと思っております。

有限会社 グループ  
代表取締役 今 武

## I 環境経営方針

### 経営方針

「まち、地域、地球の未来のため、資源のリサイクルに貢献します」を掲げ、環境に配慮した事業を自主的、積極的に行い地球環境との調和を図ります。正しく・誠実な志で責任をもって事業に取り組んでいきます。

### 環境理念

当社は、益々深刻化する環境問題への対応が重要課題であるとの認識に立ち、全組織及び全活動に係る環境負荷の低減を図るため全社一丸となり、環境保全活動に取組（むことを誓約します）みます。

### 行動方針

1. 収集運搬車両や重機等のエコドライブ等を実施し、二酸化炭素の排出削減を推進します
2. 受託した一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理廃棄物の再資源化に取組み、リサイクル率の向上を図ります
3. 節水及び排出水の適正な管理を推進します
4. 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分にあたっては、環境に配慮した作業を推進します
5. 環境関連法規制等を遵守します
6. 環境経営システムの継続的な改善を推進します
7. 社員教育の充実、業務環境改善を推進します
8. 環境コミュニケーション及び地域社会貢献活動を推進します

制定日 : 2022年 1月 31日

改訂日 : 2022年 月 日

有限会社 グループ  
代表取締役 今 武

## II 組織の概要

### 1 名称及び代表者名

有限会社 グルッペ 代表取締役 今 武

### 2 所在地

本社 青森県むつ市大字田名部字落野沢13番地2  
事業場 青森県むつ市大字田名部字落野沢95  
資材置場 青森県むつ市大字田名部字落野沢95  
ゴルフ練習施設 青森県むつ市大字田名部字落野沢13番地2

### 3 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者： 産廃部長 中山 竜也 TEL： 090-7287-2794  
担当者： 業務部長 今 和弘 TEL： 080-4673-0373

### 4 事業活動の内容

- ・ 一般廃棄物収集運搬
- ・ 産業廃棄物収集運搬業
- ・ 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ・ 産業廃棄物処理業
- ・ 金属買取業
- ・ ゴルフ練習施設運営

### 5 事業の規模

廃棄物の収集運搬量・処分量	306.09 t / 年
廃棄物の処分量	635.84 t / 年
従業員数	12 人
本社：延べ床面積	24.2 m <sup>2</sup>
事業場：延べ床面積	85.9 m <sup>2</sup>
資材置場：延べ床面積	700 m <sup>2</sup>
ゴルフ練習施設：延べ床面積	112 m <sup>2</sup>

### 6 対象範囲（認証・登録範囲）

当社の全活動・全組織を対象範囲とする。

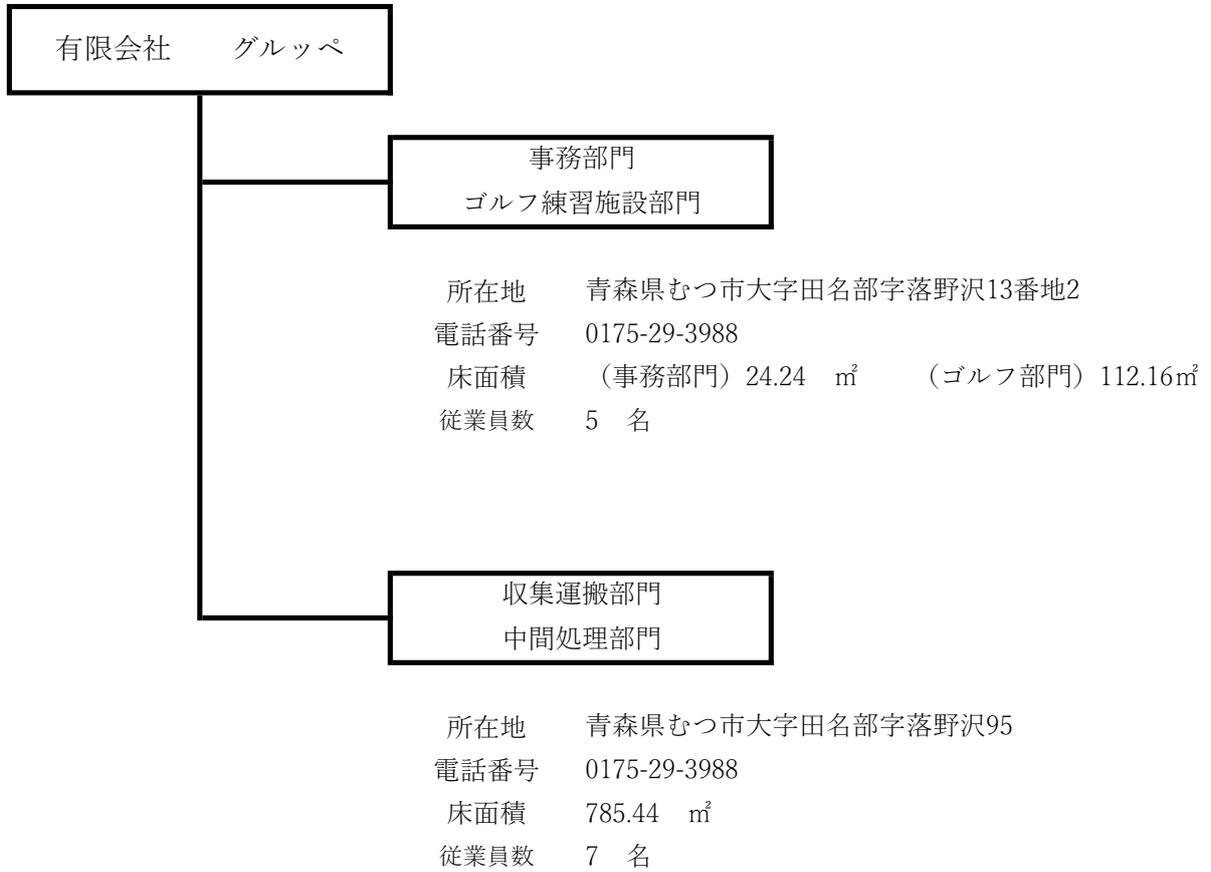
### 7 事業年度

12月～翌年11月まで

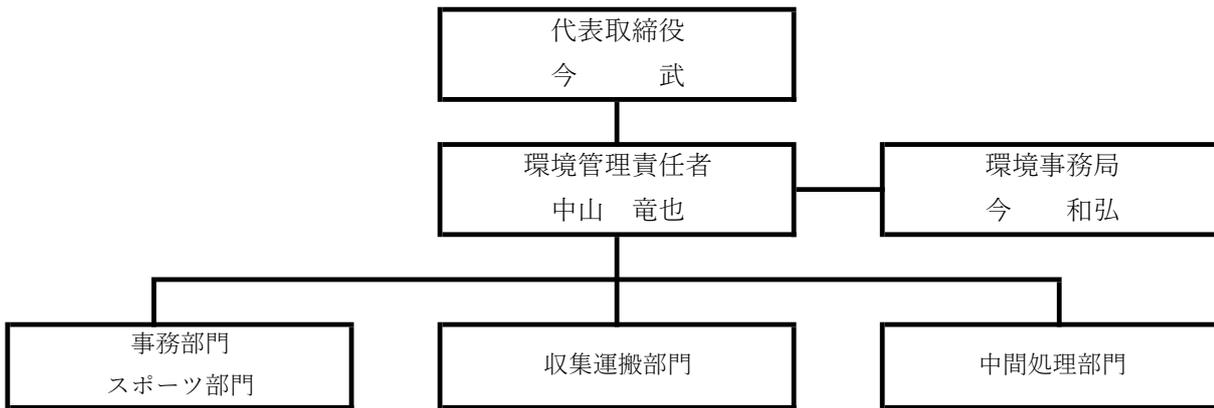
### 8 環境活動レポートの対象期間（発行日）

令和4年12月～令和5年12月（発行日：令和6年4月1日）

## 有限会社グループ 組織図



## EA21実施体制図



### 環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）  今 武	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任。</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化。</li> <li>・環境経営方針の策定。</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、資金、情報を準備。</li> <li>・効果的で必要十分な実施体制の構築。</li> <li>・環境管理責任者を任命。</li> <li>・全体の評価と見直し・指示。</li> </ul>
環境管理責任者 産廃部長 中山 竜也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>・問題点の是正、予防処置の指示・確認。</li> <li>・環境活動の取組状況を代表者への報告</li> </ul>
環境事務局  今 和弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。</li> <li>・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。</li> <li>・環境活動のチェック表等の実施集計。</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> </ul>
部門責任者 業務部長 今 和弘 事務責任者 久保田 麻紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当部門について環境経営システムを実施し、維持</li> <li>・環境経営方針の部内への周知。</li> <li>・教育訓練の実施。</li> <li>・環境経営計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>・緊急事態への対応のための手順作成テスト、訓練の実施、記録の作成。</li> <li>・問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

### Ⅲ 環境目標とその実績

#### 1 主な環境負荷の実績

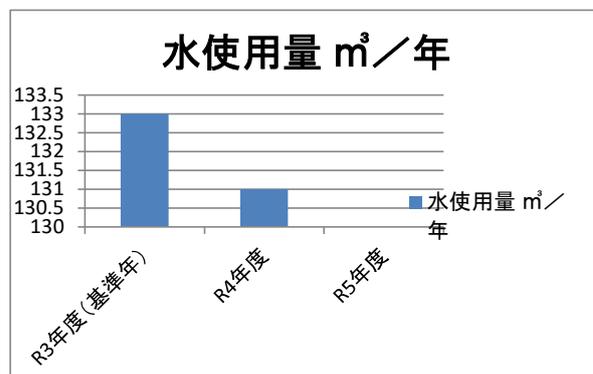
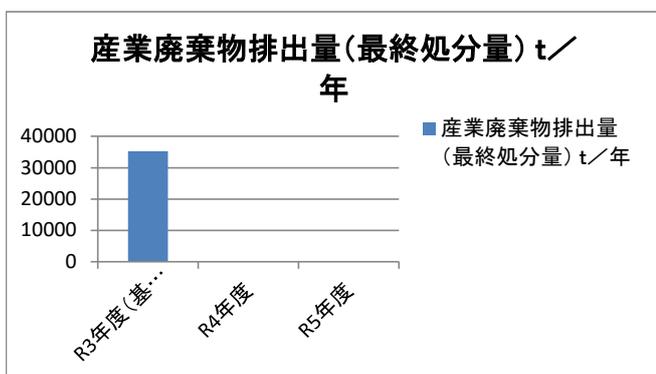
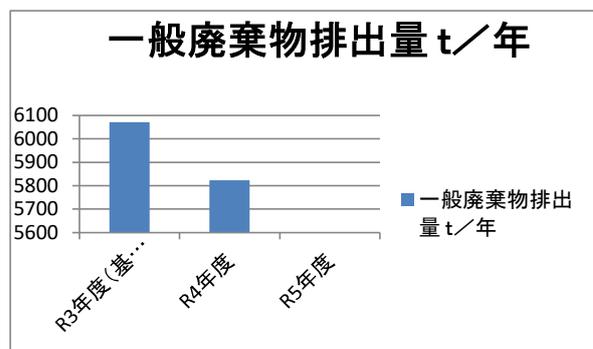
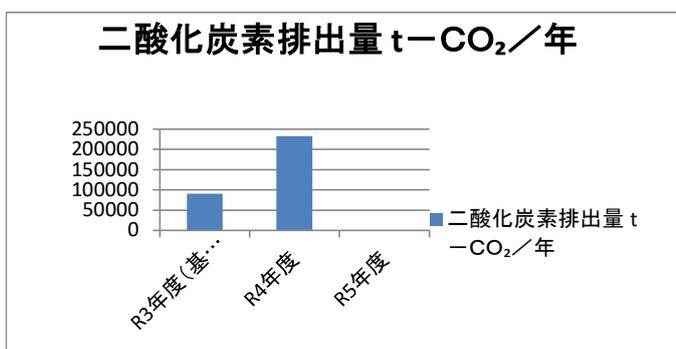
当社は、主に産業廃棄物収集運搬業と産業廃棄物中間処理などを中心とした事業活動を行っており、環境負荷は、表1の通りです。

二酸化炭素排出量については、産業廃棄物等の収集運搬車両等が主なもので、令和4年度、91,642kg-CO<sub>2</sub>です。

表 1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	令和3年度 (基準年)	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	90,802	232,599	
一般廃棄物排出量	t/年	6,071	5,823	
産業廃棄物排出量(最終処分量)	t/年	35,210	34.54	
水使用	m <sup>3</sup> /年	133	131	

(注) 購入電力の排出係数は、令和元年度実績 R31,7環境省・経済産業省公表 東北電力(株)の調整後排出係数0.528を使用した



## 2 環境経営目標の設定

当社では、環境目標を表2のとおり設定し、環境負荷の削減等に取り組んでおります。

表2 環境経営目標（R4年度～R6年度）

コア指標	環境方針	環境目標項目	削減率又は増加率（％）	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)		
			単位		基準値	R4年度	R5年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率（％）	R3年度	2	4	6
			k w h	22,369	21,922	21,474	21,027
		灯油の削減	削減率（％）	R3年度	2	4	6
			L	921	903	884	866
		L P Gの削減	削減率（％）	R3年度	2	4	6
			kg	5	5	5	5
	ガソリンの削減	削減率（％）	R3年度	2	4	6	
		L	4,617	4,525	4,433	4,340	
	軽油の削減	削減率（％）	R3年度	2	4	6	
		L	25,570	25,059	24,548	24,036	
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	削減率（％）	R3年度	2	4	6	
		kg C O <sub>2</sub>	90,802	88,996	87,179	85,363	
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率（％）	R3年度	2	4	6
			t	6,071	5,950	5,828	5,707
水使用量	節水	節水	削減率（％）	R3年度	2	4	6
			m <sup>3</sup>	133	130	128	125
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		適正な収集運搬処分業務	・ 適正な収集運搬業務を推進し、定期的に確認する。				
地域貢献その他	清掃活動等	増加率（％）	R3年度	2	4	6	
		件数	7	7	7	7	

- 1、環境目標は、毎年見直すとともに、事業活動に大きな変更があった場合は、速やかに改定する。
- 2、負荷の自己チェックで環境影響が大きいと判断した項目はすべて目標を設定する。
- 3、コア指標の二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量は目標設定の必須項目とする。
- 4、この書類は、環境事務局で保管する。また、全従業員へ伝達する。

購入電力の排出係数は、令和元年度実績 R2.1.7環境省・経済産業省公表 東北電力㈱の調整後排出係数0.528を使用した

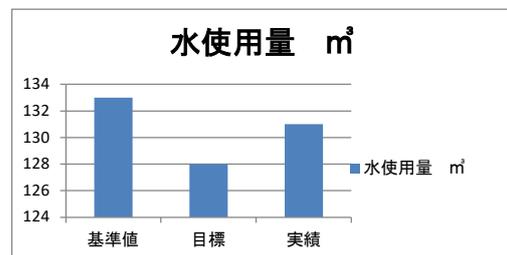
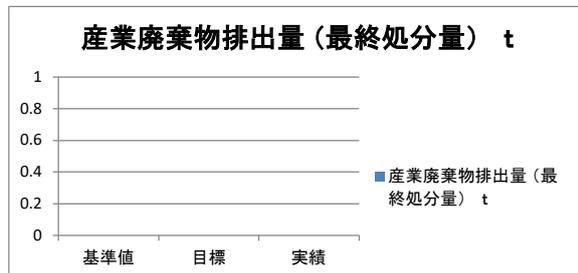
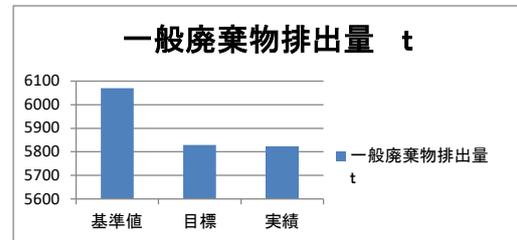
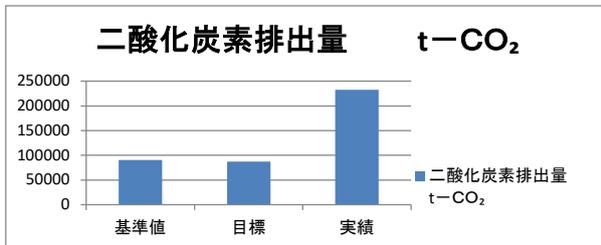
### 3. 環境経営目標の実績

環境経営目標の達成状況についての実績については、表3の通りです。ガソリンの削減・軽油の削減・二酸化炭素排出量の削減・一般廃棄物の削減については、環境目標を未達成であった。軽油については、遠方の業者に産業廃棄物の収集に行く回数が多かった為、燃料使用量が見込み数を超えたこと等が大きい原因と考えられる。

表3 当該年度の環境経営目標の達成状況等 ※実施期間 令和4年12月～令和5年11月

コア指標	環境方針	環境目標項目	単位	基準値 R3年度	R4年度			環境目標の 達成状況
					削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
二酸化炭素 排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	k w h	22,369	2%削減	21,922	23,305	未達成
		灯油の削減	L	921	2%削減	903	901	達成
		L P Gの削減	kg	5	2%削減	5	4	達成
		ガソリンの削減	L	4,617	2%削減	4,525	4,968	未達成
		軽油の削減	L	25,570	2%削減	25,059	80,043	未達成
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	kg C O <sub>2</sub>	90,802	2%削減	88,996	232,599	未達成
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	t	6,071	2%削減	5,950	5,823	達成
総排水量	節水	節水	m <sup>3</sup>	133	2%削減	130	131	未達成
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分 における環境配慮		受託した産廃のリサイクル率 向上	再資源化率 (%)	分別の徹底を行い最終処分場に委託する産業廃棄物を削減する。				達成
その他	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率(%) 件数	7	2%増	7	9	達成

購入電力の排出係数は、令和元年度実績 R3.1.7環境省・経済産業省公表 東北電力(株)の調整後排出係数0.528を使用した



#### IV. 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取組内容

環境経営計画については項目ごとに具体的な取組の内容（達成手段）を表4の通り作成した。なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

表4 環境経営計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取組内容

活動項目	取組内容	実施状況	取組みの結果	次年度の取組内容	
二酸化炭素排出量の削減	車両運行	①不要照明の消灯	○	冷房温度の28℃設定と空気の入替え、クールビズは定着しつつあるが目標達成まで取組を継続しなくてはならない。	節電、エコドライブ等の取組をさらに強化する。
		②空調管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）	○		
		③不使用機器の待機電力カット	○		
		④エコドライブ励行の声掛け（エコドライブ10徹底）	○		
		⑤燃費向上のための車両整備	○		
		⑥エコドライブの励行の声掛け	○		
	施設設備	①用途に応じた使用車両・重機の選定	○	エコドライブなど省燃費運転の強化に努めた。	引き続き、効率的なルート・スケジュールの調整と、省燃費運転を強化する。
		②車両、重機等の作業前点検等の徹底	○		
		③効率的な運行ルートの確認	○		
		④エコドライブなど省燃費運転の徹底	○		
		⑤積み込み忘れの無い効率的な作業	○		
		⑥設備の作業前点検	○		
	②無理・無駄のない安定運転	○			
	③重機の作業効率向上	○			
④不要照明の消灯	○				
⑤空気圧縮機のエア漏れ点検	○				
⑥電力不用時、負荷遮断・変圧器の遮断	○				
廃棄物排出量の削減・リサイクルの推進	一般廃棄物	①ミスコピー防止など紙類の廃棄物をなくする	○	印刷する際に何度も確認してから印刷した為ミスコピーを減らす事ができた。	取組を継続する
		②帳票簡略化、配布資料など印刷物の削減	○		
		③グリーン商品の使用・購入に努めている	○		
		④混合廃棄物としないよう徹底している	○		
	産業廃棄物（自社分）	①作業工程からの発生の防止	○	再資源化、有価物化の分別を徹底してやる事ができた。	取組を継続する
		②分別の徹底	○		
	③再資源化、有価物化の徹底	○			
水使用量の削減	①日常的に節水の励行	○	水を使う際は、効率よく短時間で使用するよう心掛けたので目標を達成する事ができた。	取組を継続する	
	②水道水はバルブで水量・水圧の調節の実施	○			
	③洗浄ホースのストップノズル利用の確認	○			
	④水道配管から漏水を定期的な確認	△			
受託した産業廃棄物の処理における環境配慮	①迅速な収集・運搬の徹底	○	処理施設・車両駐車周辺・車両庫内の清掃が十分ではなかった。	処理施設・車両駐車周辺・車両庫内の清掃を徹底し、責任者が定期的な確認を強化する。	
	②近隣環境に配慮した車両運行や施設の管理	○			
	③分別保管・分別収集・運搬（混合防止）	○			
	④車両・容器から廃棄物の飛散・流出の防止	○			
	⑤処理施設、車両基地、収集運搬車両等の清潔保持	○			
	⑥顧客への分別提案・徹底依頼	○			
	⑦再資源化情報の提供、提案	○			
	⑧危険物等の混入防止の依頼	○			
清掃活動等	①事業所の清掃活動	○	釘など落ちていないか注意をはらい毎日の清掃活動が目標達成につながった。	取組を継続する	
	②事務所周辺の植栽等の実施	○			

○：評価出来る、△：まずまず評価できる、×：評価できない

## 環境活動の状況

令和5年7月10日  
会社周辺の草刈り作業



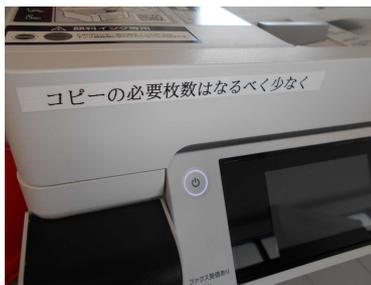
令和6年1月20日  
会社周辺の高齢者住宅の除雪作業



令和5年11月27日  
緊急事態対応・防災訓練



省エネ活動・ゴミの分別



## V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等について一覧表に取りまとめ、廃棄物処理法等の遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。住民等からの苦情もありませんでした。また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟について、問題ありません。

## VI 代表者による全体評価と見直しの結果

令和3年12月から本格的にエコアクション21について取り組みをしました。

目標未達成の電力の削減・軽油の削減・二酸化炭素排出量の削減・一般廃棄物の削減・節水については、目標の設定方法、活動計画等も含め見直しをすることとしており、次年度は他社の取組状況の調査に着手し、早期の具体化を図ることとして指示しました。

その他の環境負荷については、削減の効果が認められました。従業員の環境保全に対する意識の向上が図られ取り組みの成果が見られました。

## VII. 廃棄物処理に係る組織の概要

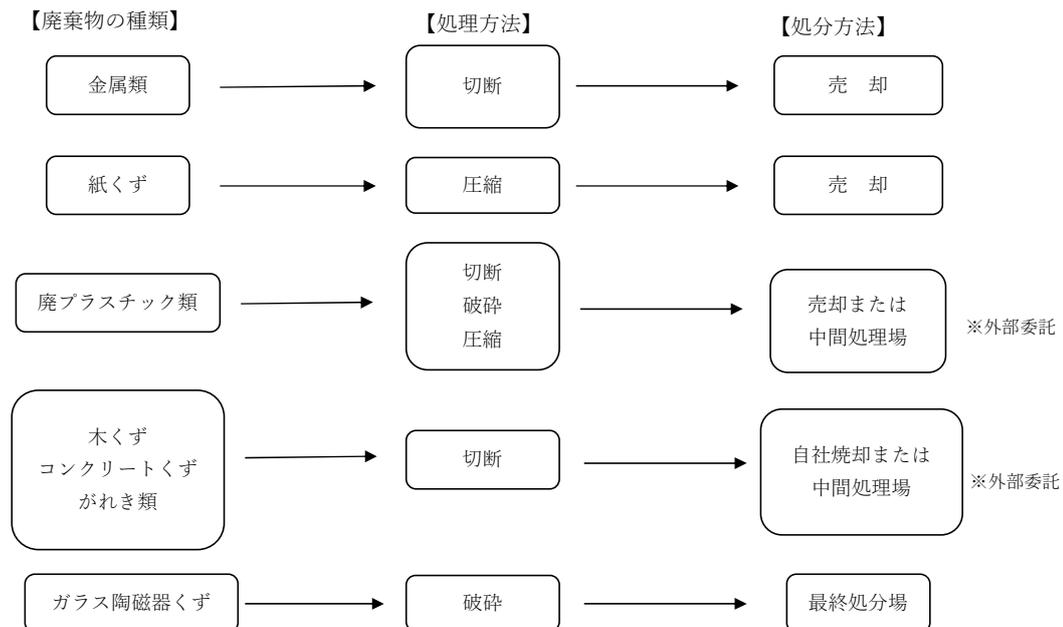
事業所名		有限会社 グルッペ						
代表者名		代表取締役 今 武						
所在地		青森県むつ市大字田名部字落野沢13番地2						
環境管理責任者		中山 竜也						
エコアクション2.1担当者		今 和弘						
連絡先		電話	0175-29-3988		ファクス	0175-29-4995		
		E-mail	gruupe@heart.ocn.ne.jp					
		UCL	https://mutsugruppe.com/					
事業活動の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般廃棄物収集運搬業</li> <li>・ 産業廃棄物収集運搬業</li> <li>・ 特別管理収集運搬業</li> <li>・ 産業廃棄物処分業</li> <li>・ ゴルフ練習施設運営</li> </ul>						
事業の規模	品名	R2年度	R3年度	R4年度				
	収集運搬量 t	1149.96	1013.74	306.09				
	処分量 t	673.65	870.74	635.84				
	最終処分量 t	0	0	34.54				
法人設立年月日		昭和61年8月1日		資本金	500 百万円	売上高	178 百万円	
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲（事業区分、廃棄物の種類）				
	一般廃棄物処理業 むつ市指令第586号	許可	令和5年4月12日		事業範囲 むつ市（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ）			
		有効	令和7年4月11日					
	産業廃棄物収集運搬業 青森県 00210074510	許可	令和5年8月8日		燃え殻 汚泥 廃油 廃酸 廃アルカリ 廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず 動物性残さ ゴムくず 金属くず ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類 ばいじん（自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等（燃え殻に限る）であるものを含む。）、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等（燃え殻に限る）			
		有効	令和12年8月7日					
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 青森県 00260074510	許可	令和5年8月8日		廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類） 廃酸・廃アルカリ（廃バッテリーに係るものに限る）			
		有効	令和12年8月7日					
	産業廃棄物処分業 青森県 00220074510	許可	令和5年8月8日	中間処理	破砕	廃プラスチック類 木くず ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類		
					切断	廃プラスチック類 木くず 金属くず		
		有効	令和12年8月7日		圧縮	廃プラスチック類 紙くず 金属くず		

設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
<b>積替え保管施設</b>			キャブオーバー 2t	収集運搬	1
燃え殻	面積：4.56㎡ 保管上限：4.24 t		キャブオーバー 10 t	収集運搬	2
汚 泥	面積：4.56㎡ 保管上限：4.09 t		キャブオーバー 7.8 t (クレーン付)	収集運搬	1
廃 油	面積：2.684㎡ 保管上限：1.2㎡		キャブオーバー 7.7 t (クレーン付)	収集運搬	1
廃 酸	面積：0.42㎡ 保管上限：0.04㎡		バン 4 t (ウィング)	収集運搬	1
廃アルカリ	面積：0.42㎡ 保管上限：0.04㎡		塵芥車 5 t	収集運搬	2
廃プラスチック類	面積：43.2㎡ 保管上限：6.82 t		油圧ショベル	圧縮：金属くず 3.2 t/日	1
廃プラスチック類 (廃タイヤに限る)	面積：252㎡ 保管上限：86.4 t 高さ：2m		ミニダブリングシャー	切断：金属くず 15.3 t/日 圧縮：金属くず 8.5 t/日 切断：廃プラスチック類 7.3 t/日 破碎・圧縮：廃プラスチック類 4.1 t/日 破碎：ガラス陶磁器くず 4.2 t/日 破碎：コンクリートくず 4.2 t/日 破碎：がれき類 4.2 t/日 圧縮：紙くず 3.2 t/日	1
廃プラスチック類 金属くず (廃オイルフィルターに限る)	面積：9.12㎡ 保管上限：0.4 t				
廃プラスチック類 金属くず (廃バッテリーに限る)	面積：0.8㎡ 保管上限：0.664㎡				
	面積：0.8㎡ 保管上限：0.664㎡		スタンド付き テーブルソー	切断：木くず 1.2 t/日	1
廃 油 (揮発油類、灯油類及び軽油類)	面積：9.12㎡ 保管上限：0.4 t		エアプラズマ切断機	切断：金属くず 16 t/日	1
廃 酸 (廃バッテリーに係るものに限る)	面積：0.8㎡ 保管上限：0.664㎡		ガ ス	切断：金属くず 2.4 t/日	1
廃アルカリ (廃バッテリーに係るものに限る)	面積：0.8㎡ 保管上限：0.664㎡		チップパーシュレッダ	破碎：木くず 4.77 t/日	1

### 処理方法・処理工程

(収集運搬) 一般廃棄物の場合 排出者 → 回収・収集運搬 → 中間処理場へ (外部委託)

(中間処理の場合)



受託した産業廃棄物の処理量

R4年度 2022.12月～2023.11月

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	<b>一般廃棄物</b>			
	可燃ごみ（事業系）		532,830.00	
	可燃ごみ（家庭系）		17,580.00	
	不燃ごみ		1,698.00	
	資源ごみ（有害ごみ）		1,550.00	
	資源ごみ（ビン）		1,980.00	
	資源ごみ（ペットボトル）		8,976.00	
	<b>産業廃棄物</b>			
	廃プラスチック類		123.69	
	ガラスくず		19.35	
	木くず		57.49	
	汚泥	排出者→収集運搬→処理場	11.12	
	金属くず		21.22	
	紙くず		18.55	
	石綿含有		1.28	
	混合廃棄物		15.77	
	廃油		7.58	
	水銀使用製品産業廃棄物		0.72	
	特管廃酸含む混合廃棄物		8.32	
	廃酸		0	
廃アルカリ		13.42		
強酸		0		
引火性廃油		7.58		
<b>収集運搬量合計</b>			<b>564,920</b>	
中間処理	廃プラスチック類	破砕・切断・圧縮	224.04	
	金属くず	切断	188.93	
	ガラスくず	破砕	20.23	
	木くず	切断	164.43	
	陶磁器くず	破砕	14.31	
	コンクリートくず	破砕	23.58	
	紙くず	圧縮	0.32	
うち再資源化等	廃プラスチック類	破砕・切断・圧縮	224.04	
	金属くず	切断	188.93	
	木くず	切断	164.43	
	コンクリートくず	破砕	23.58	
	紙くず	圧縮	0.32	
再資源化等量小計			601.3	
<b>中間処理合計</b>			<b>635.84</b>	
最終処分				
<b>最終処分量合計</b>				
中間処理後の 産業廃棄物	最終 処分	陶磁器くず	埋立	14.31
		ガラスくず	埋立	20.23
	再 資 源 化	廃プラスチック類	売却	224.04
		金属くず	売却	188.93
		木くず	売却、自社消費（冬季暖房用）	164.43
		コンクリートくず	売却、自社消費（整地用）	23.58
		紙くず	売却	0.32
再資源化等量小計			601.3	
<b>中間処理後処分量合計</b>			<b>635.84</b>	
処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
再生资源の回収・収集等	金属	収集運搬	2.68	
	古紙		248.02	
<b>再生资源の回収・収集量合計</b>			<b>250.7</b>	
再生资源の再資源化等	金属	売却	2.68	
	古紙	売却	248.02	
<b>再生资源の再資源化量合計</b>			<b>250.7</b>	